



真宗大谷派旭川別院

旭川別院だより

春号

2020

発行所 真宗大谷派 旭川別院

輪番 太田 法生

〒070-0030 旭川市宮下2丁目

TEL.0166-22-2409

FAX.0166-22-2411

印刷:植平印刷株式会社

旭川別院ホームページ

http://potato9.hokkai.net/~betsuin/

真宗大谷派旭川別院 | 検索

本願①



余市町 即信寺住職 亀谷 亨

これから四回にわたり法話のページを担当させて頂くことになりました。四回を通して、浄土真宗の教えを学ぶ上で要となる言葉に触れながら、親鸞聖人の頂かれた救いの内容を確かめたいと思っております。

今回は「本願」です。本願とは仏や菩薩の起こされた願いということですが、浄土真宗において本願といえば、特に阿弥陀如来の四十八願を指します。ただそれは、実際に阿弥陀如来という仏さまがどこかにおられて、その仏さまが何か特別な願いを起こされたということではありません。まず、そのことから考えたいと思います。

言うまでもなく私たち人間にも願いがあります。しかし私たちの願いはその時々によって変わる願いであり、叶うと消えてしまう願いです。そこに一生を貫いて変わらない願い・消えない願いというのはなかなか見つけることはできません。

それに対して本願は、いついかなる場合も変わることのない根本の願い。本来の願いという意味があります。ある先生は、「本願とは願本である」と言われました。それは私たちの抱く色々

ういう願いにながされて生きていくのが人間本来のあり方だということではないかと。ただそう言われても、そんな話は雲をつかむような、ただの理想にしか聞こえないのも正直なところではあります。そこに「自身も他者も平等に大切にしよう」ということは大事な願いでありながら、自己中心の心で生きる者にとっては見えていない願いであるということが知らされます。しかし、本願はただの理想を語っているのではありません。人間は「お互いにかけてあげない命を生きている」と教える本願との出遇いにおいて、いかなるあり方であつてもその存在を軽く見ないで、自分と他人を大切にできる道が開かれるのだということが教えられるのです。

ある時、息子さんが自死された方のお通夜での法話を聞かせて頂きました。そのご住職は、家族を失った悲しみと、救えなかった遺族の苦しみに心を重ねつつ、次のように話されました。「まず息子さんの死が、特殊な死だとは思わないで下さい、誰の上にも起こる事です。皆さんにも、私にも起こることです。そして、三十歳で自ら命を絶ったからといって、それまでの三十年が無になるわけではないし、皆さんと親子だったこと、兄弟だったことが無になるわけでもありません、そのことも忘れないで欲しい。また、何で死んでしまったんだとか、どうしてこんなふうになつてしまったのかということに悩まぬほど悩んだという、そのことに頭を下げなければならぬ。そして、これか

ら亡き人とどう向き合っていくのか、そのことを一緒に考えましょう」と話されたのです。お話を聴きながら、本願の心は具体的にこういふ言葉となつて現れるものだと感じました。私なら「なぜこうなつたんだ、私たちのことも考えてくれ、人様に顔向けができない」と、自分を守る思いだけで堂々巡りをしてしまうことでしょうか。しかしその思いに閉じこもる限り、亡き人との窓は永遠に開かれることはないのです。共に家族として生きてきたのにそれだけの思いで終わるならとても悲しいことですが、何よりも自分の眼が曇っていることに気がつかなければ、自らの人生もまた闇のまま終わっていくということとです。

このお話から「いのちの重さにおいて人を見る、どんな人も軽く見ない、いかなるあり方であつてもかけがえのない存在として見る」という本願の心の大切さを教えられました。私たちは本願との出遇いにおいて、初めて人間本来のあり方を失わずに生きていくことができるのでしよう。本願をただの理想にするならば、救いも夢と終わりますが、「本願まこと」と領けるならば、そこに救いの道が現前するのです。その本願の心を私たちに届けようとして、仏が私たちに手渡されたのが「念仏」です。次回は「念仏」について尋ねたいと思います。



法座・行事案内予定

Table with 4 columns for months (April, May, June, July) and rows for dates, times, and activities. Includes details like 'Public Learning Session', 'Group Meeting', and 'Family Meeting'.



輪番感話 ①

今から五十年前程前、私は僻地の小さな小学校から、町の大きな中学校へ進学し、そのクラスの中に、アイヌの同級生H君がいました。私は彼の隣の席になり、初めてのクラスメイトとして、気易く話しかけていました。

ところが、大きな小学校から進学してきた一部の同級生達から、彼に対して心ない差別的言葉を投げかけては彼をいじめ、椅子の上面に画鋲を置いたり、物を隠したりして面白がっていました。

今、北海道命名百五十年が過ぎ、白老町には(民族共生象徴空間)ウポポイが四月にオープン。更には、直木賞受賞作『熱源』(川越宗一著)が話題となり、先住民アイヌの文化と生活がクローズアップされています。

北海道開墾の歴史は、アイヌの人々にとって、国の同化政策による、和人との差別と迫害の歴史ではなかったのだろうか。

私は車を運転したり、列車に乗って北海道の雄大な景色を眺めながら、ふとそんなことを思い、北海道に住む私達に何か重い責任と、深い願いがあるように思うのである。

(太田 法生)

旭川別院職員紹介

～ よろしくお願ひ申し上げます～

北田 康生



大野 信
(主任列座)



太田 法生
(輪番)



小宮山 一貴



井畑 毅俊



経森 由章



柳澤 智証



矢田 浩之



安居 宏淳



草部 俊裕
(会計列座)



川村 唯心



福芳 応彰



佐藤 洋子
(前)



富永 英子
(事務)



横井 光
(書記)



永代経法要のご案内

「永代経」とは、永代にわたり読経を通して、仏さまの言葉(教え)にふれ、私と私に続く縁のある人達が出会い、人として生きる意味を問いつつ御仏事です。それは私に先立って人生を歩み、人生を終えていかれた大切な方々の「死」をご縁にして、仏さまの教えに身を据えて、私自身を学ばせていただくことです。永代経法要は、「私に、人として生きるとはどのようなことを教えて下さる仏さま」と遇わせていただく尊いご縁です。

日時 七月一日～七月十日迄 午後一時～於本堂

在家報恩講のご案内

○期間
六月一日～三十日迄(日時につきましては、事前に郵便にてご連絡させていただきます)

○お荘厳(おかざりするもの)
・お華束(白のお餅)・打敷(三角形の金襴の布)・朱ローソク(赤ローソク)

※この在家報恩講中の月命日のお参りはお休みとさせていただきます。

・六月にご法事等を予定のご門徒様は、五月十五日までに別院にお連絡の上、ご調整願います。

行事(法座等)中止のご案内

*新型コロナウイルス感染防止の為、四月二十七日迄の旭川別院行事(法座等)は中止させていただきます。

尚、感染状況により今後の行事(法座等)の開催に変更があれば、別院ロビーにて掲示いたします。何かと皆さまには、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

公開講演会・暁天講座のご案内予定

- ・公開講演会
 - 五月 ウイルス感染防止の為中止
 - 七月五日 午後十八時～二十時十五分 金倉 泰賢氏
 - 九月四日 午後十三時半～十五時半 中島 航氏(同朋会共催)
 - ・暁天講座
 - 七月六日 午前七時二十分～八時十分 金倉 泰賢氏
- 是非、御聴聞下さい。



館内禁煙

「健康増進法」により旭川別院館内すべてにおいて、4月より禁煙となります。

しんらん誕生会のお知らせ

二〇二〇年四月十八日(土)〜四月十九日(日)に開催を予定していましたが親鸞誕生会は「本堂」での開催はコロナウィルスの拡大防止のため中止となります。
その為、「展示」のみで開催をする事になりました。皆さんのご参加をお待ちしております。

【募 集】

①書道展：課題の言葉、「浄土真宗」「如来の大悲」どちらか、または「自分の言葉(お寺か誕生会に関わることを四〜六文字で半紙に書いて下さい。書体は楷書か行書で作品には必ず名前の記入をお願いします)。
②写真展：皆さんのお参り姿を写真におさめて出展して下さい。(お参りに関する写真であれば大丈夫です)。
③浄土川柳：例題 「早起きも、待てど暮らせど、坊主こぬ」のような…お寺、教え、ご門徒さんならではの面白いあるある川柳を紙に書いて募集して下さい。

【応募方法】

旭川別院まで作品を持参していただくか、郵送、メール (betsuin@potato9.hokkai.ne.jp) へお願いします。締切は六月二十日迄とさせていただきます。

【展示場所】

本堂・事務所前・別院HPなど



心に光がはいるのは、
耳からである

この言葉は、ヘレン・ケラーという方の言葉です。この方は、2歳の時に高熱により、聴覚と視覚を失いました。それにより、話すこともできませんでした。しかし、周りの人や自らの努力により「話すこと」ができるようになり、様々な教育・福祉活動をされました。その中で、

「初心のつどい」のご案内

今年度の初心のつどいを左記の日程で開催いたします。身近な仏事・お勤め等に関心のある方の参加をお待ちしています。

記

日・時 毎月十三日 午後一時より三時まで
場 所 旭川別院本堂
内 容 お勤めの練習・お内仏のお給仕
持 物 お釈迦様、親鸞様の教え等・質疑応答
念珠・勤行本(貸し出し可)

会員制ではありませんのでどなたでも参加下さい。
(会費無料)
※継続される方も大歓迎です。
※参加申し込みは、後日別紙にてご案内いたします。
※四月十三日の開催でしたが、ウィルス感染防止の為、中止しました。五月十三日開講予定です。

「目が見えなくても耳が聞こえなくても、心の目が開いており、心の耳が聞こえていれば不幸なことはありません。」
と書かれました。

真宗では聞法や、聴聞という事を、よく言われます。私たちが聞法するという事は、どういうことでしょうか。ある研修会で、聞法するという事は「私が法(仏法)を聞く」と「法に私の姿を聞く(無明の姿を聞く)」の2つの意味があると聞きました。私たち一人一人が聞法する中で、私自身の迷いの姿が明らかになっていく。しかし、私自身、聞法し、自分が迷っているという気が付くかといわれると、聞いた瞬間は「なるほどな」「そうだったな」と思いますが、しばらくすると、そのことはすっぱり抜けていることが多々あります。

また、聴聞という事で言えば、「聴」は自分の意思、「聞」はそれを超えて聞こえてくるという事です。自分に都合のいいことを聴き、悪いことは聞かさない。ただ、聴くという事がなければ、聞こえてはきけません。分からない中にも、その場に座り聴聞する。聴聞する中に、都合よく聴く自分が聞こえてきます。仏法を聴聞し続けなければなりません。

蓮如上人のお言葉で、「わがこころは、ただ、かごに水を入れ候うように、仏法の御座敷にては、ありがたくもとうとくも存じ候うが、やがて、もとの心になされ候う」「そのかごを水につけよ」
蓮如上人御一代記聞書(真宗聖典八七一P)

聞法するという事は、すぐに忘れてしまう私であるから、即席ではなく聞き続けなければならぬ。そこに自分の無明(迷い)の姿が見えてきます。今年度も皆さんと一緒に仏法を聞き続けたいと思います。

柳澤智証



公開学習会のご案内(予定)

昨年に引き続き五月から真宗寺・島山明光先生にご出向頂き、一人でも多くの方々(御門徒、各御寺院)と共に学びを深め、聴聞していただくという願いで公開学習会を開講します。参加条件等は一切ありませんので、是非この機会にご参加下さい。

期 日 令和二年度(年に九回、毎月一日開講。一月、八月、十一月はお休みです)
時 間 午後七時より八時三十分頃まで
場 所 旭川別院広間
講 師 島山明光師(真宗大谷派真宗寺)
●学習内容 歎異抄
※学習会後に懇親会がございます。
(午後八時四十分頃から午後十時三十分まで)
●会 費 五〇〇円
※途中からの参加も可です。
※四月一日の開催でしたが、ウィルス感染防止の為、中止しました。五月一日開会予定です。



旭川別院大谷婦人会総会のお知らせ

新型コロナウイルスの為、四月の開催予定でしたが、五月に変更いたします。尚、状況次第により変更があれば幹事連絡網、又は別院ロビーにて掲示いたします。
●五月十八日(月) 午後一時〜三時 大谷ホール二階

別院子ども会

令和になりましたが、多くの子供たちにご参加いただき、ありがとうございます。お寺離れが激しく進む中、旭川別院のお御堂に子供たちの大きな元気いっばいの声があふれていることを、大変嬉しく思っています。

また今年も、6月にはいちご狩り、8月にはお寺でのお泊まり会を予定しています。たくさんの子供たちのご参加をお待ちしています。



幼稚園型認定こども園 旭川別院附属 大谷さくら幼稚園

旭川別院附属大谷さくら幼稚園便り

2学期の後半は、ピザ作り、おもちゃつき、お楽しみバイキングなど、楽しく美味しい行事が盛りだくさんでした！
幼稚園の子ども達は1か月間の冬休みを終え、3学期が始まりました。



ピザのトッピング
「ケチャップ、ちよつとなめちゃんおう」



「ご飯がおもちになったね！」
「うわ！のびるね〜！」



「みんなで食べるとおいしいね！」
「お肉、おかわりくださいー！」

親子登園日 一月二十五日(土)

ひよこ(0歳)、りす(1歳)、うさぎ(2歳)組の子ども達が、おうちの方と一緒にクッキー作りをしました。生地を伸ばし、好きな型抜きをします。クッキーが焼けるまで、大谷の杜で雪遊び！そりすべり、かまくら作り、お散歩など、思い思いの遊びを家族で楽しみました。園内に入るとクッキーの甘い香りがします♡サクサクで美味しいクッキーをいただきました。

節分 二月三日(月)

「みんなが、病気をしないで元気に幸せに過ごせますように」という願いを込めて豆まきをしました。「鬼は外！福は内！」と元気に豆をまき、心の中の悪い鬼を追い払う事が出来ました。お昼の給食は『鬼チャールズハン』でした！大きな鬼の顔に皆大喜びで、沢山いただき、力をモリモリ蓄えた子ども達でした。

親子ワークショップ 二月二十二日(土)

こあら(3歳)、ばんだ(4歳)、きりん(5歳)組の親子行事で、ワークショップを開催しました。スライム作り、リズム遊び、紙飛行機飛ばし大会、大きな水族館作り、カプラ、アクセサリー作りのブースがあり、好きな物を選んで、おうちの方と一緒に楽しい時間を過ごしました。



お母さんとカプラで船を作っています。



ガラス一面に絵の具で海の生き物を描きました。



「おにさん、食べちゃうよ！」



さつまいものクッキーは、卵・乳不使用です。

3学期の『いももりクラス』より
年長きりん組が、神楽岡公園に出かけました。長靴だと埋まってしまうふかふかの雪の上をかんじきを装備して歩きます。森の探検では、うさぎの足跡を発見！いつもの雪遊びとは一味違う楽しさを味わう事ができました。
3学期の後半は、コロナウイルス感染症対策のため、予定していた行事が中止や変更になったり、全員が揃う日が少なくなりました。一日も早く早く安心して子ども達が登園して園生活を送れるよう願っています。年長きりん組の子ども達の卒園を心からお祝いし、新年度に向かっていきなさいと思っております。



神楽岡公園にて
「森の散歩、楽しかったよ！」

北海道教区門徒会通信



北海道教区門徒会 副会長

佐古光臣

北海道教区における現如上人開教百五十年・現如上人百回忌並びに宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に関する準備委員会報告。「非常に長い名前です」。昨年春から準備委員会と、小委員会を七回開催し、三月の委員会報告をもって、名称と内容が承認され準備委員会が終了し、新たに慶讃法要委員会が設立されました。

◎委員会の名称は、北海道教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要並びに現如上人百回忌法要委員会、「これもまた長いです」。委員会名称から「開教百五十年」が外れた経緯は、従来開教を「慶事」位置付けていたが、北海道近代化の背景には、住む土地を奪われた先住民の存在があります。また道南地区では、明治以前から寺院が建立とされてきたことを鑑み、北海道教区では「北海道開教」という歴史観を「慶事」ではなく、「課題」として受け止め直すこととしました。

現如上人の北海道における功績は、開削された本願寺道路や、札幌別院の設立等があったこそ、この北海道に私達の生活が根付くことで現在が成り立っていることです。

◎慶讃法要委員会組織・委員会と、常任委員会、さらに六つの専門部会で構成されます。また、委員会規則と予算案も提示された。

堅苦しく、分かり難い報告であることをお許しください。

以上

うどんが

一月に帰省する事になりました。ちょうどこの時は「コロナウイルス」の話題でどこのお店に行ってもマスクが売り切れ品薄とニュースで連日報道されていました。

私がお店に着くと長い列が出来ていました。何かあるんだなと思いの先をみましたら、マスクが売っていたのです。そしてその横には、大きな文字でお一人様二箱迄と書いてありました。

行列の最後尾に並びました。しかし、ふとある女性を見ましたら、「ここにこにこ笑いながら」今買ったばかりの人がまた直ぐに私の後ろに並んだのです。気持ち分るけどそれは少し違うのではと、その姿をみたときに思い出した言葉がありました。

「井畑ちゃんと生きろよ！」

故田口先生の言葉でした。ちゃんとは秩序正しく、しっかりとの意味ですが、自分さえよければ良いという姿ではなく、人との繋がりを大切にしたいという事を教えてくれていたように思います。

井畑毅俊